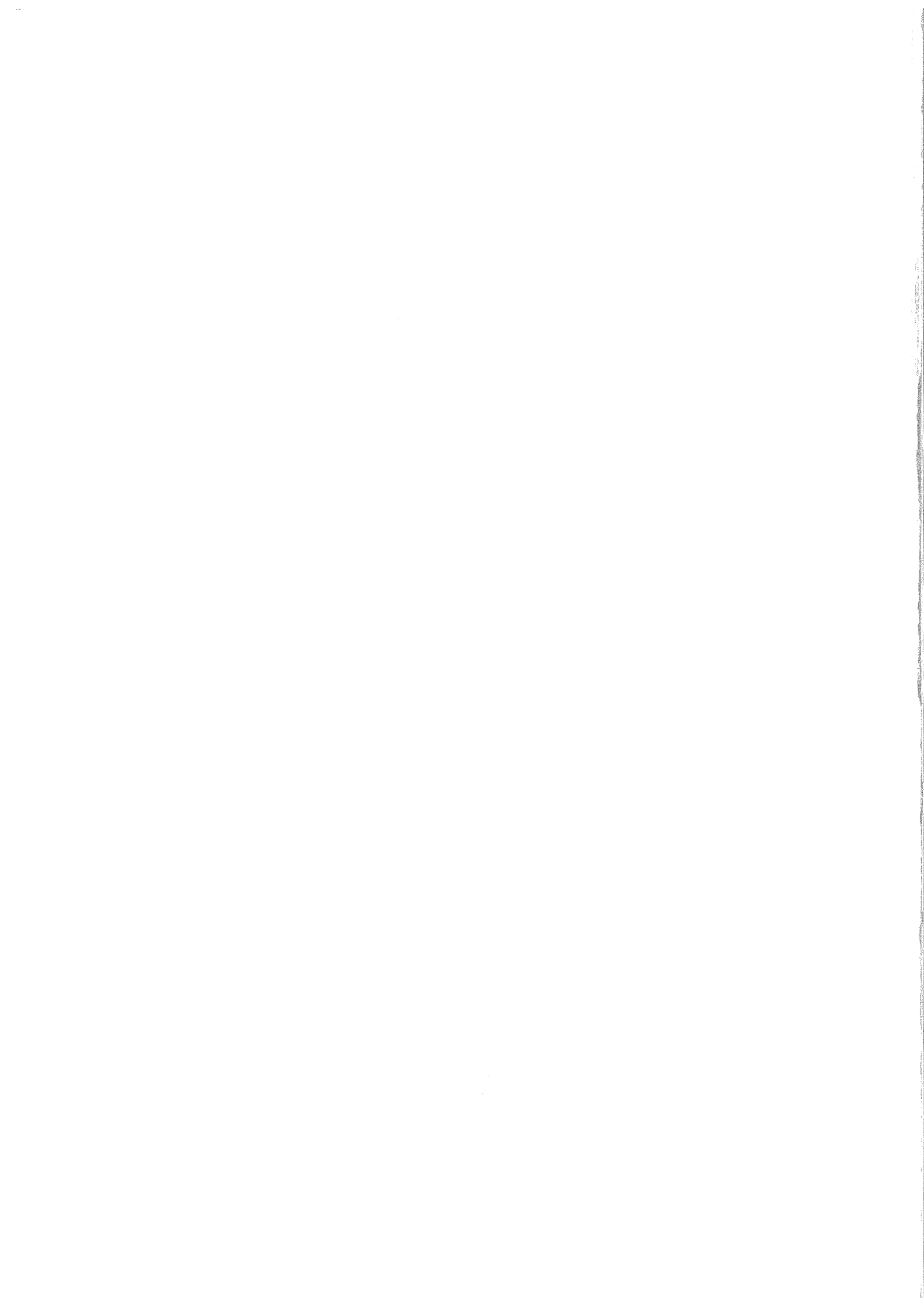


2008 / 年報

平成20年度

No.16

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館



はじめに

開館以来16年目、そして第Ⅰ期指定管理者制度導入の3年目にあたる今年度は、開館当初の設置目的を基本にすえながら、考古資料と入館者への限りない愛と考古資料館への思い入れをもって館経営にあたらせていただきました。職員全員が自分の分掌にこだわり過ぎる縦割りの弊害を排除するため「報・連・相」と「協業」に力を入れ、チームとして一丸となって館運営にあたってきました。

来館者への対応の基本は「またおいでいただける」をモットーにしています。当館でお預かりしている考古資料は山形県の宝です。大事に保存管理をすることは当たり前ですが、開館当初からみれば職員も少なく人手が足りないにもかかわらずコツコツと資料整理・保存管理に努めてきました。各種事業においては、学芸員一人に大きな負担をかけるのではなく、全職員で協業してきました。仕事がいっぱい人手が足りないと研究者への対応がおろそかになりがちですが、当館の考古資料に価値を与えて下さる福の神として対応させていただきました。

また、当館に与えられた使命と当館設置の基盤である山形県民のニーズに応えるため企画展はじめ各種事業を行っておりますが、特別ミニ企画展「平安初頭のカレンダー」や特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展」を新規に実施し県民の要望に応えました。さらに特別ミニ企画展は、アンコールに応じて年度の後半にも再度展示しました。研究者側からの要望に応じて、当館所蔵の押出遺跡出土資料の研究者対応公開を行ってきました。置賜地方の県民からの要望があり、可能な限り出前講座にも対応してきました。

企画展「出羽国ができるころ」も県民からの要望をふまえたもので、連動する考古学セミナー・企画展図録も含めて大変好評でした。

限られた人員と予算で県民をはじめとする来館者のニーズに対応することはかなり厳しいものがありますが、山形県教育委員会文化遺産課・財団法人山形県埋蔵文化財センター・各市町教育委員会・東北芸術工科大学・うきたむ学講座実行委員会の皆様方の大いなる協力と連携があって充実した館運営を行うことができました。

お陰様で、多くの博物館・美術館等が入館者の減少で悩む中、入館者増加の傾向にあり、平成20年度の運営が実ったものと思われまます。

本年報はこうした一年間の記録であります。しかし、活字に全てを表すことは不可能です。活字の裏にこうした背景があることも読み取っていただければ幸甚であります。

末尾になりますが、上記の機関等と、うきたむ考古の会・山形考古学会・歴史公園管理組合の皆様へ深く感謝申しあげ、はじめの言葉とします。

平成21年3月吉日

館長 佐藤 鎮雄

目 次

1. 施設の概要	1
2. 開館後のあゆみ	2
3. 展示の概要	5
(1) 常設展示及びテーマ展示	
(2) 第16回企画展	
4. 教育普及活動	7
(1) 記念講演会	
(2) 体験教室	
(3) 遺跡研修	
(4) 第10期「考古学セミナー」	
(5) 考古資料検討会	
(6) 第Ⅲ期うきたむ学講座	
(7) 学校教育との連携	
(8) 学芸員実習	
(9) 「うきたむ考古の会」の事業	
5. 資料の活用	11
(1) 資料貸出	
(2) 写真利用	
(3) 資料館資料の特別利用	
(4) 刊行物一覧	
6. 入館状況	12
(1) 月別入館者一覧表	
(2) 主な入館団体一覧	
(3) 来観者アンケート	
7. 管理及び運営	14
(1) 組織・職員	
(2) 運営協議会	
8. 受贈図書	15
9. 利用案内	21

1. 施設概要

(1) 設置の趣旨

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館は、本県にとっての歴史上重要な古代の遺跡に関する資料の収集、保管及び展示を行うとともに、風土記の丘の中心として設置するものである。

(2) 沿革

昭和51年度	第6次山形県総合開発計画及び第2次山形県教育振興計画において、風土記の丘（歴史公園）建設構想提示
昭和56年度	風土記の丘実態調査を実施し、候補予定地は、高島町の洞窟遺跡群を中心とする置賜地域が適当と報告
昭和60年度	第7次山形県総合開発計画及び第3次山形県教育振興計画において、候補地区を高島町を中心とする置賜地区に位置付け
昭和61年度	風土記の丘基本構想・計画を作成
平成2年度	考古資料館の基本・実施設計を作成
平成3年度	高島町町有地を借用し、考古資料館本体工事着工、展示工事着工
平成4年度	考古資料館建物本体・展示工事完成、考古資料館外構工事・植栽工事施工、名称を「うきたむ風土記の丘考古資料館」に決定
平成5年度	考古資料館開館 4月23日

(3) 施設

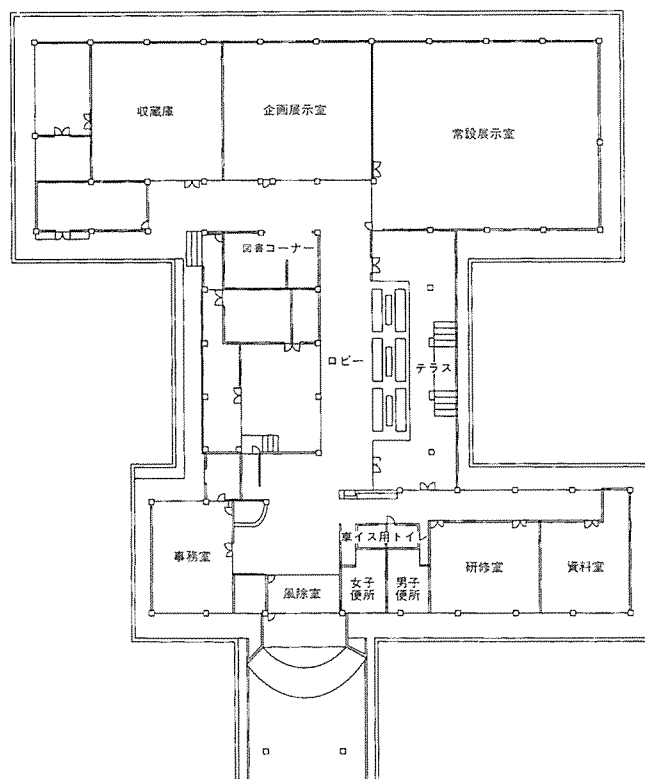
① 構造・規模

鉄筋コンクリート造平屋建

敷地面積： 7,000m²

延床面積：1,358.24m²

常設展示室	279.00m ²
企画展示室	129.37m ²
収蔵庫(2層)	129.37m ²
研修室	125.70m ²
事務室	67.50m ²
作業室・荷解室	51.75m ²
ロビー・ホール	336.85m ²
その他(機械室等)	238.70m ²



[山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館平面図]

2. 開館後のあゆみ

- 平成5年度 開館記念行事・記念講演「考古資料館に期待すること」 文化庁 田中 琢氏
第1回特別展「縄文の四季」
シンポジウム「祈りとたたかいの中世」
第1回収蔵品展「押出遺跡とその周辺」
第1回企画展「古墳と人々の暮らし」
講演会「末期古墳がつくられたころ」 福島大学 工藤雅樹氏
第2回収蔵品展「最近発掘された置賜の遺跡から」
- 平成6年度 第2回企画展「一ノ坂遺跡と巨大住居」
講演会「東北・北陸の巨大住居が意味するもの」 秋田埋文センター 富樫泰時氏
第3回収蔵品展「平地と山地の縄文遺跡」
第1期やさしい考古学入門講座
「縄文時代の人々と文化」 日本考古学協会会員 佐藤鎮雄氏 他10回
第3回企画展「発掘された中世—まじないと祈りの世界—」
講演会「中尊寺金色堂の視線」 東北大学 入間田宣夫氏
第4回収蔵品展「古代の村と暮らし」
- 平成7年度 開館3周年記念特別展「よみがえる縄文文化」
講演会「三内丸山遺跡と東北の縄文文化」 青森県教育委員会 岡田康博氏
第5回収蔵品展「高島の古墳時代」
第2期やさしい考古学入門講座「日本のやきものの流れ」
「縄文草創期・早期」 山形埋文センター 佐々木洋治氏 他10回
うきたむ考古の会設立 東北中世考古学会設立
第4回企画展「やまがた古代の役所」
味噌根窯跡の発掘調査（～12月上旬）
講演会「古代出羽の役所」 酒田市教育委員会 小野 忍氏
第6回収蔵品展「置賜のやきものの移りかわり」
- 平成8年度 第5回企画展「古代の窯業遺跡」
講演会「古代の窯業遺跡」 国立歴史民俗博物館教授 吉岡康暢氏
第3期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅠ」
「弥生時代の遺跡を掘る」 山形埋文センター 佐藤庄一氏 他10回
第7回収蔵品展「縄文の四季」
第3回特別展「縄文のタイムカプセル押出遺跡展」
講演会「縄文文化と現代」 国立歴史民俗博物館 佐原 真氏
第8回収蔵品展「土器のうつりかわり」
- 平成9年度 第6回企画展「縄文の花開いて～一ノ坂・台ノ上遺跡～」
テーマ展「考古資料からみた古代・中世」（企画展期間を除く）
講演会「古代出羽の都」 酒田中央高校 佐藤禎宏氏
講演会「縄文文化の魅力」 國學院大学 小林達雄氏
第4期やさしい考古学入門講座「遺跡発掘最前線～遺跡を掘るⅡ」
「大型住居跡を掘る」 米沢市教育委員会 手塚 孝氏 他5回

- 平成10年度 第7回企画展「やまがたの弥生文化－水田稲作の始まり－」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学入門講座「中世の考古学」
 「奥羽の中世世界」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
 講演会「東北の弥生文化－その成立と展開－」 東北大学 須藤 隆氏
- 平成11年度 第8回企画展「やまがたの古墳とその時代」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「やまがたの古墳とその時代」
 「古墳時代の集落」 山形県立博物館 阿部明彦氏 他5回
 講演会「日本の中の山形の古墳」 明治大学 大塚初重氏
 置賜地区遺跡発掘調査報告会
- 平成12年度 第9回企画展「縄文時代・最後の世界」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「奈良・平安の考古学」
 「飛鳥時代の東北」 福島県教育委員会 木本元治氏 他5回
 講演会「縄文文化の最後の世界～東北・北陸の縄文晩期の文化」
 明治大学 石川日出志氏
 2000年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成13年度 第10回企画展「発掘された山形の城館跡」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「城館跡の考古学」
 「城館跡を歩き楽しむ」 中世城郭研究会 横山勝栄氏 他5回
 講演会「奥羽における城館跡」 山形大学 伊藤清郎氏
 2001年山形の発掘〈調査検討会〉
- 平成14年度 第4回特別展「やまがたの縄文土器」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「やまがたの縄文土器」
 「縄文土器の出現と展開」 山形県教育庁 渋谷孝雄氏 他5回
 講演会「やまがたの縄文土器」
 國學院大学 小林達雄氏、東京都教育委員会 安孫子昭二氏
 2002年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成15年度 第11回企画展「古代長者の世界～古志田東遺跡展」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「平安時代の歴史と考古」
 「平泉と出羽」 山形県立米沢女子短期大学 吉田 歆氏 他5回
 講演会「古代長者の世界～古志田東遺跡」
 山形大学 三上喜孝氏、米沢市教育委員会 手塚 孝氏
 2003年置賜の発掘〈調査検討会〉
- 平成16年度 第12回企画展「埋められた経こめられた願い やまがたの経塚」
 テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
 考古学セミナー「信仰の歴史と考古」

「中世出羽の宗教と民衆」 山形大学 伊藤清郎氏 他5回
講演会「東日本の経塚と地域性」 国立歴史民俗博物館 村木二郎氏
「やまがたの経塚」 当館館長 川崎利夫
2004年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成17年度 第13回企画展「古墳ができたころ 山形盆地の集落跡を中心に」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「古墳出現期の考古学」
「古墳時代前期とはどんな時代か」 山形県教育庁 尾形與典氏 他5回
講演会「土器からみる古墳出現期の地域間交流」 東北学院大学 辻 秀人氏
2005年置賜の発掘〈調査検討会〉

平成18年度 第14回企画展「旧石器から日向へ—大きく変わった環境と文化—」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「旧石器・中石器の考古学」
「ナイフ形石器を使う人々」(助)山形県埋蔵文化財センター 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変—旧石器から縄文へ—」
東北学院大学 佐川正敏氏
2006年置賜の発掘〈調査検討会〉
第Ⅰ期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回

平成19年度 第15回企画展「縄文の至宝 押出遺跡」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展期間を除く)
考古学セミナー「縄文時代前期の考古学—押出遺跡にみる縄文人のくらし—」
「縄文の至宝 押出遺跡」 山形県教育庁文化財保護室 渋谷孝雄氏 他5回
講演会「押出遺跡の世界」 山形県教育庁文化財保護室 佐藤庄一氏
2007年置賜の発掘〈調査検討会〉
第Ⅱ期うきたむ講座 山形大学人文学部 三上喜孝氏他 全3回

平成20年度 第16回企画展「出羽国ができるころ」
テーマ展「古代・中世の考古資料」(企画展・特別テーマ展期間を除く)
特別テーマ展「発掘おきたま最前線の考古展—蘇る原始・古代の置賜象—」
展示:(助)山形県埋蔵文化財センター
考古学セミナー「飛鳥・奈良時代のやまがた」
「置賜における古代窯業の開始」 東北芸術工科大学 北野博司氏他
講演会「出羽国ができるころ」 当館名誉館長 川崎利夫氏
2008年山形の考古資料検討会
第Ⅲ期うきたむ学講座 米沢女子短期大学 吉田歆氏他 全3回

これまでの教育普及活動

体験教室 土器作り、珧状耳飾り作り、縄文住居作り、土面・土笛作り
編み物作り、土偶作り、釣り針作り、弓矢・投げ槍体験、石器作り
縄文料理、勾玉作り、火おこし、柿渋染め、ガラス玉作り
イベント 縄文まつり(体験教室と縄文料理)
史跡見学 毎年、春・秋に県内、夏に県外を視察

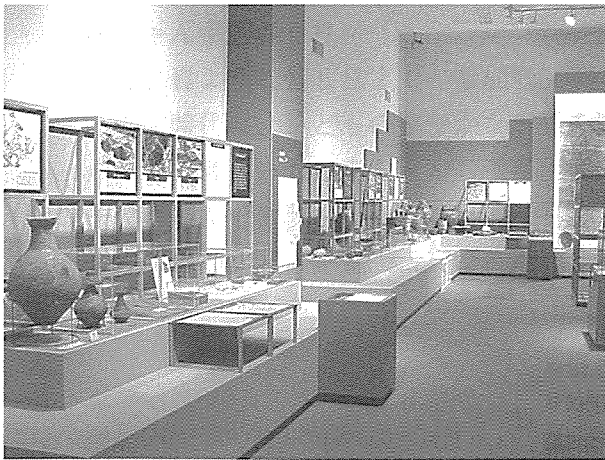
3. 展示の概要

(1) 常設展示及びテーマ展示

ロビーから始まる常設展示「置賜のあけぼの」では、飯豊町上谷地や小国町岩井沢・湯の花遺跡などから出土した旧石器時代の資料を展示している。また、ロビーではこれとは別に、「さわれる考古資料」のコーナーを設け、入館者が自由に土器や石器の破片などの考古資料に触れることができるようになっている。

常設展示室は、「大谷地をかこむ遺跡」「縄文時代のタイムカプセル」「古墳をつくる人々」の三部構成で、主として置賜を中心とした原始・古代の資料を紹介しながら、地域の歴史、日向洞窟をはじめ縄文時代の幕開けをつげる高島町の国指定史跡の4つの洞窟遺跡をとりあげている。さらに縄文時代の低湿地遺跡で、縄文クッキーをはじめ、数々の木製品、彩漆土器などが出土した押出遺跡を遺物やジオラマで紹介している。そのほか豪壮な縄文中期から後期・晩期の繊細な土器の変遷が土偶や石器とともに展示されている。古墳時代の展示では、資料館のすぐそばにある安久津古墳をはじめ、置賜地域に広く分布する古墳の様子を写真パネルなどを用いて解説している。

企画展示室では企画展期間外において、主としてテーマ展「古代・中世の考古資料」を行い、古墳時代以後の歴史時代の考古遺物、6世紀から江戸時代までの器や信仰遺物や、奈良・平安時代の文字資料・硯などを展示している。そのほか、他機関の協力によりミニ企画展「平安初頭のカレンダー」や、特別テーマ展「発掘置賜最前線の考古展」を開催している。



(2) 第16回企画展

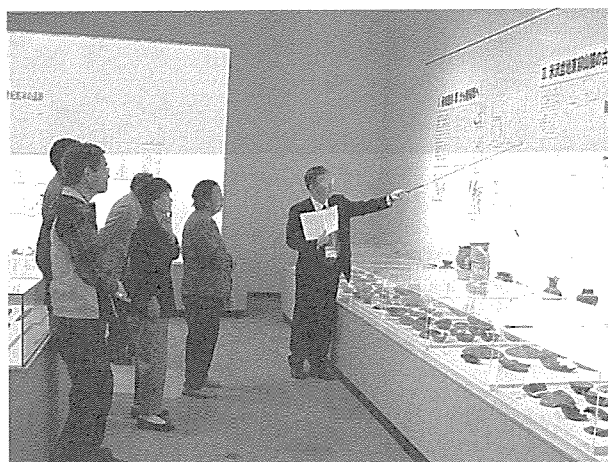
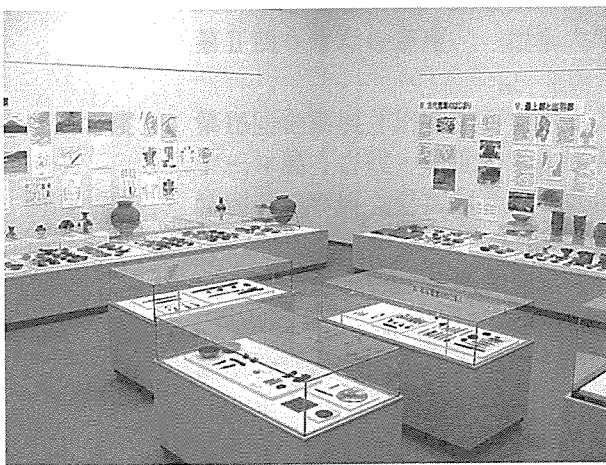
- テーマ 「出羽国ができるころ」
- 開催期間 2008年10月1日～11月30日

和銅5年(712)の出羽国建国は、山形県域が律令国家に編入される意義を持ち、どのようにして建国に至ったか、そしてどのような様子であったかは県民の関心が高い。しかし、文献資料も極めて少なく、考古資料も少ないためよくわかっていない。今年度企画展では、この空白の百年間といわれている謎の時代に焦点を当て、考古資料の比較的多い置賜地方を中心に7世紀後半から8世紀前半の資料を展示することにより、現時点での基本的理解を深めた。

展示は、山形県内の7世紀後半から8世紀前半にかけての考古資料、特に高島町・米沢市・南陽市の終末期古墳出土資料・集落跡や古窯跡出土資料を主体に、県内出土資料を展示。

展示構成は、「プロローグ 飛鳥・奈良時代のやまがた」「Ⅰ. 7世紀後半～8世紀前半の遺跡」「Ⅱ. 優曇曇評(郡)から置賜群へ」「Ⅲ. 置賜盆地東部山麓の古墳群」「Ⅳ. 古代窯業のはじまり」「Ⅴ. 最上郡と出羽郡」「Ⅵ. もたらされた信仰」「Ⅶ. 開発進む南出羽」の7つの章からなる。

注目は、県内に点在していたこの時期の数少ない資料が一堂に集まったということである。個人所蔵になっており、なかなか見る機会のない玉類や、現在県内で唯一出土している瓦塔(高島町大在家遺跡出土・高島町教育委員会所蔵)も展示し、好評を得た。



4. 教育普及活動

(1) 第16回考古学セミナー記念講演会

11月16日(日) 受講者 47名

基調講演「出羽国ができるころ」

当館名誉館長 川崎利夫氏

7世紀後半から8世紀前半のやまがたの様子を、わかりやすく解説いただいた。



(2) 体験教室

① 勾玉・弓矢をつくろう

5月10日(土)・8月16日(土)・11月3日(祝) 延べ319名参加

資料館の展示を見学のあと、滑石を使って勾玉、竹を使って弓矢を作った。今年度は夏休みにあわせて、8月にも開催した。

② ガラス玉をつくろう

6月14日(土)・12月20日(土) 15組参加

ガラスをとかし、芯棒に巻きつける方法で、古墳などから出土するガラス玉を作った。

③ 縄文土器をつくろう-野焼きのための焼物教室-

形づくり 8月10日(日) 17名参加

野焼き 10月11日(日) 14名参加

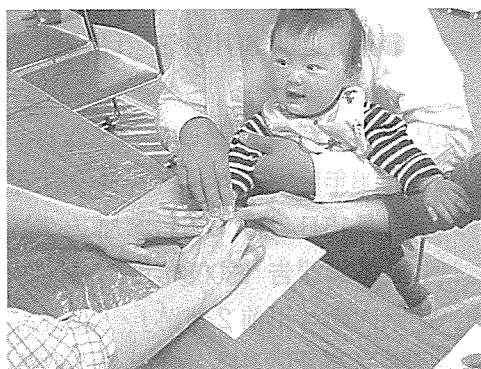
④ 編布(あんぎん)をつくろう

1月19日(土) 3名参加

⑤ 赤ちゃん手形づくり

5月2日より5月6日まで 参加者540名(子供)

縄文時代に、子どもの健やかな成長を願って作られたと考えられる赤ちゃんの手形土製品を、親子で楽しんで再現することを目的に実施し、8年目の開催となった。過去最高だった昨年度をさらに上回る参加があり、人気の事業といえる。



(3) 遺跡研修

① 春の遺跡めぐり

5月18日(日) 参加者22名

朝日町・大江町・西川町の史跡・資料館

安中坊遺跡・六十里越街道石畳・柳川小倉交流館内民具資料室・大江町歴史民俗資料館など。

講師：清野幸夫氏(西川町)・上田美紀氏(大江町)

バスの都合もあって減少したが、参加者からは好評であった。

② 秋の遺跡めぐり

10月19日(日) 参加者7名

米沢の史跡・資料館

直江石庭・林泉寺・伝国の杜 上杉博物館・上杉
神社稽照殿・宮坂考古資料館を見学。
県内各地の大行事と重なり大幅に減少した。



(4) 第10期「考古学セミナー」

企画展の内容に合わせて、「縄文時代前期の考古学」をテーマとして開催、学習した。縄文時代前期の低湿地に生きた人々がどのような文化を持って生活していたのか、最新の考古学資料をもとに、県内の最前線で研究している講師により講義を行った。

受講者延べ162名

- 第1回 7月13日 「7世紀後半から8世紀前半の考古資料と出羽建国前後のやまがた」
当館館長 佐藤鎮雄
「土師器・鉄製品からみる出羽建国前後のやまがた」
(財)山形県埋蔵文化財センター 植松暁彦氏
- 第2回 7月20日 「南陽の飛鳥・奈良時代遺跡調査」 当館館長 佐藤鎮雄
「出羽最南端地域の考古学—米沢の最近の調査から—」
米沢市教育委員会 手塚 孝氏
- 第3回 7月27日 「高島飛鳥・奈良時代遺跡調査」 高島町教育委員会 井田秀和氏
「須恵器からみる飛鳥・奈良時代のやまがた」
(財)山形県埋蔵文化財センター 伊藤邦弘氏
- 第4回 8月24日 「古代出羽の水駅」 山形県教育庁文化遺産課 阿部明彦氏
「出羽建国前後の出羽郡と遺跡」 当館名誉館長 川崎利夫氏
- 第5回 8月31日 「置賜における古代窯業の開始」 東北芸術工科大学 北野博司氏

(5) 考古資料検討会

2008年度山形の考古資料検討会

2月15日(日) 56名参加

基調報告「2008年度山形県の発掘調査概要」山形県教育庁文化遺産課 阿部明彦氏ほか、
県内の「川前2遺跡」・「北目古墳」・「山形城三の丸(旅籠町)遺跡」・「戸塚山金ヶ崎古墳
群M34号墳遺跡」・「上の寺遺跡」・「駒籠楯跡」の報告・検討を行った。

(6) 第Ⅲ期うきたむ学講座

今年度で第Ⅲ期となる。うきたむ学講座実行委員会と共催。

日頃は市町村、地区単位で歴史探究や啓蒙活動を行っている個人や団体が一堂に集い、
置賜地域に根ざした歴史文化を検討し理解を深めた。

- 第1回 1月18日(日) 43名参加
「奥羽山系西部の自然」 ゲンジ虫とカジカ蛙愛護会 島津憲一氏
「旧石器時代の台所事情」 当館職員 秦 昭繁
- 第2回 2月8日(日) 33名参加

「人口減少社会、少子高齢化時代の中でふるさと遺産をどう守るか」

高島町地域活性化戦略会議アドバイザー 宮原博通氏

●第3回 3月1日(日) 42名参加

「平泉と置賜」 米沢女子短期大学 吉田 歆氏

「葉山の自然を守る会」 代表 原 敬一氏

(7) 学校教育との連携

今年度も、学校等の団体で入館を希望する場合には、来館の目的・展示説明や体験学習の有無・利用に際しての希望などを指示していただく「利用打ち合わせ書」の提出を依頼している。また、利用後の「利用評価表」の記入も引き続き依頼し、その評価から改善点などを参考にしている。

多くの学校が、資料館と歴史公園・近隣史跡の見学を組み合わせ利用している。また、体験学習



(勾玉づくり・弓矢づくり・編布づくり・火起し・縄文服試着等)を行い、昔の物作りを学習する機会が多い。社会科学習や、親子行事での利用での利用が大半を占めた。広報と学習内容を検討し、さらに地域教育に根ざした資料館を目指したい。

(8) 「うきたむ考古の会」の事業

◎考古の会役員会・役員研修会 4月26日(土)

資料館研修室にて役員会開催。

◎考古の会総会 6月1日(日) 25名参加

当館研修室にて開催。前年度事業・会計報告と、今年度事業・会計予算案、役員選出等を決議。研修会では米沢市立伝国の杜上杉博物館学芸員 阿部哲人氏より講演をいただいた。

◎会誌「うきたむ考古」12号の発行

2006年度第8期考古学セミナー記念講演会講演抄「日向洞窟の石器が語る環境と文化の大激変—旧石器から縄文へ—」東北学院大学佐川正敏氏、うきたむ学講座論考「置賜古代史」米沢女子短期大学吉田歆氏、会員による報告などを掲載。

◎会員研修～みる・きく・ふれる遺跡の旅13 新潟県中越地方

6月28日・29日(土・日) 22名参加

馬高三十稲葉遺跡・歴史博物館・長岡市立科学博物館・与板歴史民俗資料館・与板城跡笹山遺跡・十日町市博物館・坂戸城跡を見学。

他事業との関わりもあって、若干参加者が少なかった。参加者からはHNK大河ドラマとの関連史跡もみられ、好評であった。

◎うきたむ考古の会総会講演会 6月1日(日)

◎考古資料館事業への参加

イ) 考古学セミナーへの参加(7月13・20・27日・8月24・30日)

ロ) 春の遺跡めぐり(5月18日)の参加

ハ) 秋の遺跡めぐり(10月19日)への参加

ニ) 企画展・公開講演会への参加

ホ) 山形の考古資料検討会への参加

◎おしゃべりの会

原則：月1回開催。会の活動についての協議、会事業の事前学習、考古資料館事務手伝い。

◎会事業

9月15日(日) いも煮会(歴史公園管理組合との共催)・西山城見学会 参加者30名

2月28日(土) うきたむ学生フォーラム

◎自主研修事業

6月14日(土) 直江兼続入門勉強会(荒砥城跡・畑谷城跡・長谷堂城跡など)

8月9日(土) 宮城・夏の展示会を見る(東北歴史博物館・地底の森ミュージアム)

12月6日(土) 仙台市内博物館秋の特別展めぐり 仙台市立博物館、地底の森ミュージアム

3月10~12日(火~木) 近江路の旅(滋賀県 竹先島~長浜~安土~草津~大津)

参加22名

◎うきたむ学生フォーラム 2月28日(土) 糠野目生涯学習館にて開催 20名参加

南東北ブロックの大学で考古学・古代史を学ぶ学生の研究発表会・交流会を主催した。山形大学・東北芸術工科大学の参加があり、好評を得た。今後も続けて開催していきたい。



5. 資料の活用

(1) 資料貸出

遺跡名	資料名	利用の理由	申請者	資料活用期間	備考
押出遺跡	土器・石器・炭化食品・石皿 他 計61点	平成20年度特別展「縄文時代の東・西」に展示するため	松戸市立博物館	展示20年10月11日～平成20年12月7日	
押出遺跡	炭化食物（重要文化財指定外資料）16点	平成19年度からの文部科学省オープンリサーチ事業取り組みの一環としての研究	東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科	平成21年1月28日～平成21年6月30日	県文化遺産課承認
高島町内遺跡・古墳	鼠持古墳 鉄製品・金原古墳 鉄製品・源福寺古墳 土師器 須恵器・郡山遺跡 土師器 須恵器	当館企画展「出羽国ができるころ」に関連する研究	植松暁彦氏（財団法人山形県埋蔵文化財センター）	平成20年6月8日～9月	
当館展示資料（さわれる土器コーナー）	縄文土器・弥生土器 計3点	社会科学習のため	山形大学附属中学校	平成20年8月31日～9月10日	

(2) 写真利用

利用資料	利用目的（印刷物等の名称）	利用者（発行者）	発行日など	部数
岩井沢遺跡出土石器類・復元石槍	横川ダム広報交流施設内「小国町歴史たんけん」（常設展示PCソフト）	株式会社NHKエンタープライズ（国土交通省北陸地方整備局）	平成20年4月18日～	
押出遺跡出土土器・石器他	平成20年度特別展図録『特別展 縄文時代の東・西』掲載のため	松戸市立博物館（松戸市立博物館）	発行平成20年10月11日	
押出遺跡出土異形石器・炭化食物・彩漆土器	日本の美術第515号「縄文人の祈りー形と文様ー」	米澤泰治氏（日本の美術編集部）		5,000部
押出遺跡出土炭化食物	子供向け教育番組の資料として	株式会社映像館（独立行政法人国立青少年教育振興機構）	平成21年1月5日～	
押出遺跡出土炭化食物	NHK教育テレビ データ放送 わくわくワールド 見える歴史クイズ に利用のため	NHKエディケーショナル デジタル事業推進部	平成21年1月24日～	
押出遺跡出土炭化食物	チャレンジ6年生4月号 社会科	有限会社ケー・エヌ・プランニング（㈱ベネッセコーポレーション）	平成21年4月1日	20万部

(3) 資料館資料の特別利用

利用日時	利用資料	利用目的	利用者
平成20年7月18日・11月14・15日	日向洞窟遺跡出土獣骨資料	研究のため	京都大学 納屋内氏
平成20年11月16日・平成21年3月1日	押出遺跡出土石器	研究のため	株式会社加速器分析研究所 鹿又善隆氏（東北芸術工科大学 福田正宏氏）

(4) 刊行物一覧

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの刊行状況は下記のとおりです。

書名	発行日
館報うきたむ30号	平成20年7月1日
第16回企画展図録兼概説書「出羽国ができるころ」	平成20年10月1日
館報うきたむ31号	平成20年12月20日
2008年報	平成21年3月31日

6. 入館状況

(1) 平成20年度 月別入館者一覧表

月別	有料入館者数							無料入館者数			合計
	個人		団体		減免者数			高校生以下	視察その他		
	一般	大学生	一般	大学生	一般	大学生	高校生以下		一般	大学生	
4月	78	3	37	0	22	0	146	2	74	0	362
5月	144	12	0	0	167	0	328	658	1168	0	2477
6月	117	2	205	0	54	0	323	28	129	10	868
7月	153	4	40	0	122	0	31	60	104	0	514
8月	175	7	0	0	84	20	120	110	91	0	607
9月	97	0	24	0	332	0	434	56	157	0	1100
10月	207	1	102	0	357	0	267	68	86	0	1088
11月	169	18	68	0	2	0	0	253	211	0	721
12月	8	0	0	0	33	0	11	0	51	0	103
1月	19	0	24	0	2	0	0	0	100	0	145
2月	17	2	22	0	0	0	0	0	356	0	397
3月	35	3	22	0	0	0	0	18	165	0	243
計	1219	52	544	0	1175	20	1660	1253	2692	10	8625

(区分表記を前年度までの児童等を大学生と変更)

(2) 主な入館団体

米沢市立東部小、東北芸術工科大学、高畠町立第一中学校、米沢市立三沢西部小、宮城県・西山学院高等学校、飯豊町立手ノ子小学校、高畠町立和田小学校、米沢市立愛宕小学校、南陽市・つばめ幼稚園、山形市立鈴川小学校、米沢市立関根小学校、天童市立天童中部小学校、高畠町立屋代小学校、ファーマーズクラブ赤とんぼ、米沢市・一の町子供会、鶴岡市立東栄小学校、高畠町和田地区公民館、高畠町砂押中組子供育成会、天童市・北部学童保育所、南陽市・沖郷学童保育施設、山形市・ふたみ子供会、山形ホトトギス会、高畠町小学校長会、県立米沢商業高等学校、酒田市立泉小学校、中山町立長崎小学校、高畠町・亀岡地区文殊大学(亀岡地区公民館)、山形県立山形盲学校、高畠町・糠野目生涯学習館、高畠町農林課、山形市・双美保育園、山形大学付属小学校、米沢市立塩井小学校、置賜総合支庁森林整備課、神奈川県立神奈川総合高等学校、高畠町立亀岡小学校、山形市立金井小学校、県立長井高等学校、高畠町立高畠小学校、南陽市立赤湯小学校、中山町立豊田小学校

(3) 入館者アンケート

- ・縄文土器がさわられてよかった。遺物を見るだけでなく、さわることでも発見が多いので、さわれるのが良かったと思う。(宮城県・20代女性)
- ・展示方式、説明資料、パンフレット等、参考資料が多く大変よかった。(茨城県・60代男性)
- ・縄文時代の服など、体験できるコーナーがあり、とても良かったです。(福島県・10代女性)
- ・もう少し長く見られるように展示物を増やしていただけたらと思います。(埼玉県・20代男性)

〈体験学習等の参加者から〉

赤ちゃん手形作り

- とても記念にのこるイベントで、参加できてうれしいです。 (置賜地方・女性)
- 今の成長の記念になります。 (村山地方・女性)
- 成人してから手渡したいと思います。記念になるので。 (置賜地方・女性)

勾玉作り

- 簡単にできるかなと、軽い気持ちで参加したのですが、なかなか難しく、やればやるほど楽しく、熱中してしまいました。また参加したいです。また作ってみたいです。 (置賜地方・女性)
- 子供と一緒に参加できて楽しかったです。 (村山地方・女性)
- 大変楽しく参加させていただきました。自分で作れる事が嬉しかった。 (村山地方・女性)

弓矢作り

- 弓矢をとばすのがおもしろかったです。 (置賜地方・4年男子)
- 作る前は飛ぶか不安だったけど、よく飛んでよかった。 (村山地方・6年男子)

親子でガラス玉作り

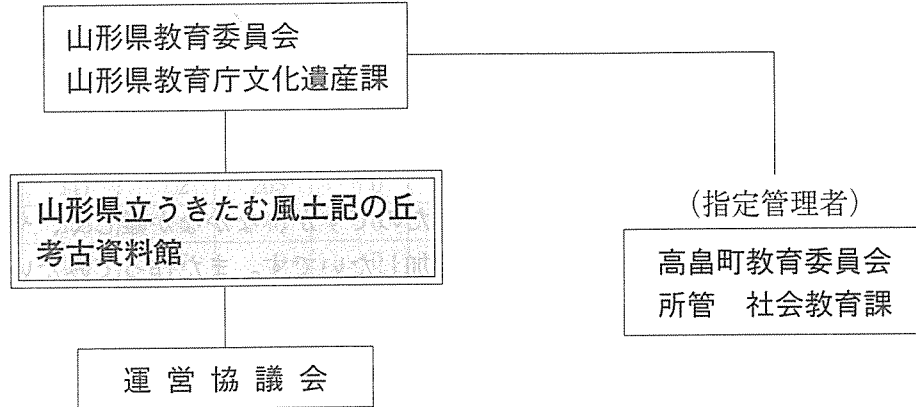
- 思っていたよりも簡単だったけど、巻くのは難しかったです。またやりたいです。 (置賜地方・5年女子)
- 親子であつという間に時間が過ぎてしまいました。次回も参加したいです。 (置賜地方・女性)

学校関係者から

- 火起こし体験とても楽しんでいました。火が付いた時の喜びを感じながら体験をしていました。
- 教科書で学習したものを実際に触ったり、体験したりすることで、大変有意義な活動となりました。
- 古墳に入らせていただいたり、竪穴式住居に入らせていただいたりと、多くの体験ができてよかったと思います。

7. 管理及び運営

(1) 組織・職員



運営協議会

[本館運営協議会委員名簿]

氏名	備考
村野 隆 男	米沢市教育委員会文化課長
柏 倉 俊 夫	財団法人山形県埋蔵文化財センター専務理事
前 田 みゆき	南陽市立漆山中学校校長
村 田 武	高畠地区公民館館長 高畠町文化財保護委員
吉 野 智 雄	上山市立図書館長 県文化財保護指導員
高 梨 善三郎	うきたむ考古の会副会長

委員長 吉野智雄

(2) 運営協議会

第1回 開催期日 11月7日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成19年度考古資料館事業報告
- ②平成20年度考古資料館事業状況報告
- ③その他

第2回 開催期日 2月27日(金)

本館研修室

会議内容

- ①平成20年度考古資料館事業報告
- ②平成21年度考古資料館事業計画
- ③その他

[本館職員名簿]

職名	氏名	備考
館長	佐藤 鎮雄	非常勤
館長代理	井田 秀和	高畠町職員
学芸員	森谷 幸	嘱託
職員	小関 利恵	嘱託
職員	福崎 稔	嘱託
職員	秦 昭繁	嘱託

8. 受 贈 図 書

年 報

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館年報 第8号	浦幌町立博物館
館報 第5号	苫小牧市博物館
調査年報20	北海道埋蔵文化財センター
青森県立郷土館報第35号 2008年度	青森県立郷土館
調査研究年報 第32号	青森県立郷土館
岩手県立博物館年報 平成19年度	岩手県立博物館
平泉文化研究年報 第8号	岩手県教育委員会
盛岡市遺跡の学び館 平成17年度館報	盛岡市遺跡の学び館
一戸町文化財年報2005・2006	一戸町教育委員会
秋田県立博物館年報 平成20年	秋田県立博物館
秋田城跡 秋田城跡調査事務所年報2007	秋田市教育委員会
秋田県埋蔵文化財センター年報26	秋田県埋蔵文化財センター
多賀城跡 宮城県多賀城跡調査研究所年報2007	宮城県多賀城跡調査研究所
東北歴史博物館 平成19年度年報	東北歴史博物館
地底の森ミュージアム・縄文の森広場年報2008	仙台市教育委員会・仙台市富沢遺跡保存館
年報 平成19年度	山形県埋蔵文化財センター
山形市埋蔵文化財調査年報 平成18年度	山形市教育委員会
米沢市文化財年報 No20	米沢市教育委員会
米沢市立上杉博物館年報 VOL.20	米沢市立上杉博物館・(財)米沢上杉文化振興財団
年報 通巻第23号	齋藤茂吉記念館
浜田広介記念館館報 第9号	浜田広介記念館
福島県文化財センター白河館年報 2007	福島県文化財センター白河館
栃木県立なす風土記の丘資料館年報 第16号	栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館
栃木県立しもつけ風土記の丘資料館年報 第22号	栃木県教育委員会・県立しもつけ風土記の丘資料館
埋蔵文化財センター年報 第18号	とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター
小美玉市史料館報 第2号	小美玉市玉里史料館
土浦市立博物館年報 第20号	土浦市立博物館
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団年報 2007	財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団
松戸市立博物館年報 第15号	松戸市立博物館
国立歴史民俗博物館年報3	国立歴史民俗博物館
市立市川考古博物館館報 第35号	市立市川考古博物館
館報 第3号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
十日町市教育委員会文化財課 年報12	十日町市教育委員会 文化財課
年報 第10号	長野県立歴史館
金沢城調査研究所年報1 平成19年度	石川県金沢城調査研究所
富山市考古資料館報 No45	富山市考古資料館
富山県〔立山博物館〕年報 第17号	富山県〔立山博物館〕
館報 平成19年度	福井県立若狭歴史民俗資料館
岐阜県博物館報 第31号	岐阜県立博物館
年報 平成19年度	滋賀県立安土城考古博物館
紀伊風土記の丘年報 第35号	和歌山県立紀伊風土記の丘
(財)京都市埋蔵文化財研究所年報 平成17年度	(財)京都市埋蔵文化財研究所
愛媛県歴史文化博物館年報 平成19年度	愛媛県歴史文化博物館
高知県立歴史民俗資料館年報 平成19年度	高知県立歴史民俗資料館
下関市立考古博物館年報13 平成19年度	下関市立考古博物館

九州歴史資料館年報 平成19年度	九州歴史資料館資料館
九州産業大学美術館年度報告書 平成18・19年度	九州産業大学美術館
大分県立歴史博物館年報2007	大分県立歴史博物館
宮崎県立西都原考古博物館年報平成19年度	宮崎県立西都原考古博物館
宮崎県総合博物館年報 平成19年度	宮崎県総合博物館
東北大学埋蔵文化財調査年報19・20・22	東北大学埋蔵文化財調査室
山形大学付属博物館報34	山形大学付属博物館
同志社大学歴史資料館 館報第11号	同志社大学歴史資料館
駿河台大学資格課程年報 第8号	駿河台大学 資格課程

図 録

名 称	発 行 者
アイヌの工芸	財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構
縄文から続く「編み」の文化	御所野縄文博物館
陸奥国大戦争時代—蝦夷と移民—	仙台市教育委員会・地底の森ミュージアム
国史跡 遠見塚古墳	仙台市教育委員会文化財課
宮床宝蔵常設展示案内書	宮床宝蔵
五百澤智也の世界	財)山形県生涯学習文化財団・山形大学
上杉伯爵家の明治	米沢市上杉博物館
没後50年 愛情の画家 椿 貞雄	米沢市上杉博物館
金の冠 鐵のかぶと	財)福島県文化振興事業団・福島県文化財センター白河館
終末期古墳と官衙の成立	栃木県教育委員会・しもつけ風土記の丘資料館
川でつながる縄文人	栃木県教育委員会・栃木県立なす風土記の丘資料館
那須の渡来文化	栃木県立なす風土記の丘資料館
南関東との交流	小美玉市玉里史料館
ソーセージの父 飯田吉英	かすみがうら市郷土資料館
帆引き船と坂本九	かすみがうら市郷土資料館
霞ヶ浦に生まれた人々のくらし	土浦市立博物館
福田たね 青木繁のロマン	芳賀町総合情報館
[染]と[織]の肖像	国立歴史民俗博物館
江戸の旅から鉄道旅行へ	国立歴史民俗博物館
国立歴史民俗博物館 要覧	国立歴史民俗博物館
縄文土器の世界	松戸市立博物館
貝塚を考える	松戸市立博物館
縄文時代の東・西	松戸市立博物館
改訂版 常設展示図録	松戸市立博物館
古代北方世界に生きた人びと	新潟県立歴史博物館・東北歴史博物館・北海道開拓記念館
ハンコ今昔	新潟県立歴史博物館
絵図でみる金沢城	石川県金沢城調査研究所
奥山巡見	富山県 [立山博物館]
大庄屋って何？	長野県立歴史館
埋められた財宝	山梨県立考古博物館
山の国、水の国岐阜	岐阜県博物館
大阪府立近つ飛鳥博物館要覧	大阪府立近つ飛鳥博物館
埋葬の風景	財)桜井市文化財協会
色から見た考古学	財)桜井市文化財協会
電化製品がやってきた	南丹市立文化博物館
ふるさとの画家 麻田辨自	南丹市立文化博物館
南丹市の遺跡	南丹市立文化博物館
なんたんの味	南丹市立文化博物館

園部ゆかりの画家たち	園部文化博物館
岩橋千塚	和歌山県立紀伊風土記の丘
天下人を祀る	滋賀県立安土城考古博物館
古代地方木簡の世紀	滋賀県立安土城考古博物館
大信楽焼展—出土資料を中心に—	滋賀県立安土城考古博物館
動物とのかかわり	下関市立考古博物館
掘り出された愛媛の江戸時代	愛媛県歴史文化博物館
愛媛と戦争	愛媛県立歴史文化博物館
おひなさま	愛媛県歴史文化博物館
絵葉書のなかの土佐	高知県立歴史民俗資料館
大相撲展	大分県立歴史博物館
木と共に生きた人びと	宮崎県立西都原考古博物館
日韓の武具	宮崎県立西都原考古博物館
鏡の世界	早稲田大学會津八一記念博物館

紀 要

名 称	発 行 者
浦幌町立博物館紀要 第8号	浦幌町立博物館
岩手県立博物館研究報告 第25号	岩手県立博物館
一関市博物館研究報告 第11号	一関市博物館
秋田県立博物館研究報告 第33号	秋田県立博物館
秋田県埋蔵文化財センター研究紀要 第22号	秋田県埋蔵文化財センター
仙台市富沢遺跡保存館研究報告11	仙台市教育委員会
仙台市縄文の森広場研究報告 2	仙台市教育委員会・仙台市縄文の森広場
研究紀要 第5号	山形県埋蔵文化財センター
研究紀要2007	福島県文化財センター白河館（まほろん）
土浦市立博物館紀要 第18号	土浦市立博物館
研究紀要26	群馬県埋蔵文化財調査事業団
東京国立博物館紀要 第43号	東京国立博物館
MUSEUM No610～No615	東京国立博物館
書陵部紀要 第59号	宮内庁書陵部
貝塚博物館紀要 第35号	千葉市立加曾利貝塚博物館
研究連絡誌 第69号	千葉県教育振興財団 文化財センター
松戸市立博物館紀要 第15号	松戸市立博物館
埼玉県立史跡の博物館紀要 第2号	埼玉県立さきたま史跡の博物館
新潟県立歴史博物館研究紀要 第9号	新潟県立歴史博物館
研究紀要 金沢城研究 第6号	石川県金沢城調査研究所
長野県立歴史館研究紀要 第14号	長野県立歴史館
研究紀要 第15号	富山県立山博物館
岐阜県博物館調査研究報告 第29号	岐阜県博物館
紀要 第16号	滋賀県立安土城考古博物館
元興寺文化財研究所 研究報告2007	財)元興寺文化財研究所
日系塔式墓標の展開と変容に関する物質文化史研究 2005-2007年度科学研究費補助金若手研究（B）研究成果報告書	財)元興寺文化財研究所
研究紀要 第12号	下関市立考古博物館
研究紀要 第16号	高知県立歴史民俗資料館
研究紀要 第13号	愛媛県歴史文化博物館
大分県立歴史博物館 研究紀要 9	大分県立歴史博物館
宮崎県立西都原考古博物館 研究紀要 第4号	宮崎県立西都原考古博物館
東北芸術工科大学紀要 No15	東北芸術工科大学

國學院大學博物館學紀要 第32輯	國學院大學博物館学研究室
早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要 第9号	早稲田大学會津八一記念博物館
兵庫県の総合的研究 大手前大学史学研究所オープン・リサーチ・センター研究報告 第7号	大手前大学史学研究所
身体技法・感性・民具の資料化と体系化 「人類文化研究のための非文字資料の体系化」研究成果報告書	神奈川大学21世紀COEプログラム研究推進会議

報告書

名 称	発 行 者
有珠川5遺跡	苫小牧市埋蔵文化財調査センター
青森県遺跡詳細分布調査報告書20 他2 青森県埋蔵文化財調査報告書 第459～461集	青森県教育委員会
野尻(1)遺跡発掘調査報告書 他3 青森市埋蔵文化財調査報告書 第95～98集	青森市教育委員会
五所川原市遺跡詳細分布調査報告書 他1 五所川原市埋蔵文化財調査報告書 第29、30集	青森県五所川原市教育委員会
柳之御所遺跡 岩手県文化財調査報告書 第125集	岩手県教育委員会
上村屋敷遺跡発掘調査報告書 他3	盛岡市教育委員会・盛岡市遺跡学びの館
花巻市文化財調査報告書 花巻市文化財調査報告書 第2集	花巻市教育委員会
徳島遺跡発掘調査報告書 他3 花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第4～7集	花巻市教育委員会
横町遺跡 他7 北上市埋蔵文化財調査報告 第72、79、81、82、85～87、89集	北上市教育委員会
似平Ⅱ遺跡 他1 一戸町文化財調査報告書 第61、62集	一戸町教育委員会
釈迦内中台Ⅰ遺跡 他11 秋田県文化財調査報告書 第426～435、437、439集	秋田県教育委員会
秋田城跡Ⅱ 他1	秋田市教育委員会
山居遺跡ほか 他3 宮城県文化財調査報告書 第214～217集	宮城県教育委員会
山田上ノ台遺跡 仙台市文化財調査報告書 第329集	仙台市教育委員会
六月坂遺跡ほか 多賀城関連遺跡発掘調査報告書 第33冊	宮城県多賀城跡調査研究所
赤井遺跡1995、1997 本町文化財調査報告書 第4、8集	宮城県矢本町教育委員会
赤井遺跡2005 東松島市文化財調査報告書 第1集	宮城県東松島市教育委員会
野崎遺跡・欠下遺跡・若林遺跡 宮城県大崎市文化財調査報告書 第4集	大崎市教育委員会
分布調査報告書(34) 他1 山形県埋蔵文化財調査報告書 第208、209集	山形県教育委員会
地坂台遺跡・下中田遺跡・太郎水野1遺跡・太郎水野2遺跡 他3 山形県埋蔵文化財センター調査報告書 第166～169集	山形県埋蔵文化財センター
嶋遺跡範囲確認調査報告書 山形県山形市埋蔵文化財調査報告書 第29集	山形市教育委員会
寒河江城跡発掘調査報告書 山形県寒河江市埋蔵文化財調査報告書 第30集	山形県寒河江市教育委員会
上谷地B遺跡 他2 米沢市埋蔵文化財調査報告書 第93～95集	米沢市教育委員会
若松寺観音堂墨書調査報告書	天童市教育委員会・若松寺観音堂墨書調査会
市内遺跡発掘調査報告書(16) 山形県長井市埋蔵文化財発掘調査報告書 第28集	長井市教育委員会
左沢楯山城跡調査報告書(10) 大江町埋蔵文化財調査報告書 第11集	大江町教育委員会

白土城跡 他5 いわき市埋蔵文化財調査報告 第125～127、129、131冊	いわき市教育委員会
郡山市埋蔵文化財分布調査報告14 他2	福島県郡山市教育委員会
南谷遺跡 他11 東京都埋蔵文化財センター調査報告 第218～229集	東京都埋蔵文化財センター
打越小ザス遺跡Ⅳ・Ⅴ	八王子市教育委員会
小野山田遺跡群Ⅳ 他3 山武郡市文化財センター発掘調査報告書 第75、104～106集	財)山武郡市文化財センター
上武道路・旧石器遺跡群(1) 他27 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第418、419、421、425、428～447、449～452集	群馬県埋蔵文化財調査事業団
長根遺跡群発掘調査報告書ⅩⅡ 他3 吉井町埋蔵文化財発掘調査報告書 第83、85、86集	群馬県多野郡吉井町教育委員会
市ノ塚遺跡 他8 栃木県埋蔵文化財調査報告書 第303、307～313、315集	栃木県教育委員会
八箇峠道路関係発掘調査報告書 他3 新潟県埋蔵文化財調査報告書 第190、197、201、202集	新潟県教育委員会・新潟県埋蔵文化財調査事業団
新潟県柏崎市・柏崎町遺跡発掘調査報告書 他17 柏崎市埋蔵文化財調査報告書 第38～54集	柏崎市教育委員会
貝野久保遺跡発掘調査報告書 他1 十日町市埋蔵文化財発掘調査報告書 第37、38集	十日町市教育委員会
坪之内塚群・坪之内遺跡発掘調査報告書 西山町文化財調査報告書 第8集	西山町教育委員会
金沢城跡埋蔵文化財確認調査報告書Ⅰ 他1 金沢城史料叢書8、9	石川県金沢城調査研究所
安養寺遺跡・辻野遺跡 他10	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
鳥居古墳	三重県立博物館
青谷上寺地遺跡9 鳥取県埋蔵文化財センター調査報告21	鳥取県埋蔵文化財センター
中原遺跡Ⅱ 佐賀県文化調査報告書 第175集	佐賀県教育委員会
佐賀城跡 他10 佐賀市埋蔵文化財調査報告書 第18～27集	佐賀市教育委員会
頓田高見遺跡Ⅳ 他3 朝倉市文化財調査報告書 第1～4集	朝倉市教育委員会
県北地域調査報告書 宮崎県総合博物館総合調査報告書	宮崎県総合博物館
高安窯跡群 東北芸術工科大学考古学研究報告 第7冊	東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター
庚申壇古墳1 福島大学考古学研究報告 第3集	福島大学行政政策学類考古学研究室
戸吹遺跡	セガサミーホールディングス(株)・大成建設(株)
神奈川県藤沢市石川山田北遺跡	有明文化財研究所
平城京左京三条五坊三坪 平成19年度発掘調査報告書 他1	財)元興寺文化財研究所

資料目録

名 称	発 行 者
岩手県立博物館収蔵資料目録 第20集 考古Ⅷ	岩手県立博物館
埋蔵文化財関係統計資料	文化庁文化財部記念物課
越後文書宝翰集 毛利安田氏文書 新潟大学大域プロジェクト研究資料叢刊Ⅸ	新潟大学
金沢城石垣構築技術史料Ⅰ 金沢城史料叢書7	石川県金沢城調査研究所
民俗資料目録3・4 三重県立博物館収蔵資料目録	三重県立博物館
浅生形紙店寄贈資料目録	三重県立博物館
寺石正路関係資料目録Ⅱ 平成19年度高知県立歴史民俗資料館 収蔵資料目録 第13集	高知県立歴史民俗資料館
甘木歴史資料館収蔵品目録 第1・2集	甘木歴史資料館

学 術

名 称	発 行 者
山形考古 第8巻 第4号	山形考古学会
さあべい 第24号	さあべい同人会
米沢史学 第24号	米沢史学会
村山民俗 第22号	村山民俗学会
季刊 東北学 第十五号～第十八号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
真澄学 第四号	東北芸術工科大学 東北文化研究センター
「環状盛土遺構」研究の現段階	「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」実行委員会

論 文

名 称	発 行 者
川西町の「獅子頭」について 山形県地域史研究 第33号抜刷	渡邊敏和
総覧 縄文土器 小林達雄先生古稀記念企画	(株)アム・プロモーション、小林達雄
所謂「新潟県新発田市板山産黒曜石」について 他 北越考古学 第10号抜刷 他	関 雅之

単行本

名 称	発 行 者
祈りにみる山形	山形県生涯学習文化財団
建築史と考古学の接点を求めて 歴史研究の最前線 Vol.9	国立歴史民俗博物館
人がつくる環境 歴史研究の最前線 Vol.10	国立歴史民俗博物館

その他

名 称	発 行 者
噴火湾遺跡HANDBOOK	噴火湾考古学研究会
青森県史 資料編 古代2 出土文字資料	青森県・青森県史編さん古代部会
国指定史跡 十三湊遺跡保存管理計画書	青森県五所川原市教育委員会
花巻市史 資料篇 御次留書帳 第五巻	花巻市教育委員会
波伝谷の民俗	東北歴史博物館・東北学院大学
五百澤智也特集	財)山形県生涯学習文化財団・山形県郷土館「文翔館」
天童市の文化財(改訂版)	天童市教育委員会・天童市文化財保護審議会
歴史と考古 第5号	いいで歴史考古の会
博物館支援策にかかる各国等比較調査研究	財)日本博物館協会
博物館の評価機関等に関するモデル調査研究報告書	財)日本博物館協会
博物館の評価基準に関する調査研究	財)日本博物館協会
災 わざわい 人びとのくらしと災害 信濃の歴史と風土⑭	長野県立歴史館
水の浄土 琵琶湖 近江湖物語1	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
聖武天皇の夢・紫香楽 近江歴史探訪マップ10	甲賀市教育委員会歴史文化財課・滋賀県教育委員会
貝沼のめぐみと交流	「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」実行委員会
平成19年度 博物館に関する基礎資料	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
押出遺跡と縄文前期の山形県 文部科学省オープン・リサーチ・センター整備事業	東北芸術工科大学東北文化研究センター
本州東北部における古墳時代の終末と律令社会の成立 福島大学考古学研究室 第1回公開シンポジウム	福島大学行政政策学類考古学研究室
古代社会と地域間交流 国士館大学考古学研究室40周年記念シンポジウム	国士館大学
越後文書宝翰集 古文書学入門	新潟大学・新潟県立歴史博物館
世界遺産年報2008	日本ユネスコ協会連盟
文化財学雑誌 第4号	鶴見大学文化財学会
大塚葉報 No639	(株)大塚製薬工場

9. 利用案内

- ◆ 交通案内 JR高島駅よりタクシーで15分
JR高島駅より自転車で40分
*高島駅にレンタサイクルがあり、「まほろばの緑道」のサイクリング道があります

- ◆ 開館時間 AM9:00~PM4:30

- ◆ 休館日 月曜日、国民の祝日（こどもの日と文化の日は無料で開館します）
年末年始（12月28日～1月4日）
大型連休中は、臨時開館の場合があります
燻蒸作業のため臨時休館の場合があります

- ◆ 入館料金 一般200円（150円）、学生100円（70円）、小中高生無料
（ ）は20名様以上の団体料金

- ◆ 入館料の減免 次の基準により減免（無料入館）します
 1. こどもの日、文化の日その他教育委員会が指定する日において資料館が主催する教育、学術及び文化の普及向上に資する行事に参加する者については入館料を免除する
 2. 前項に規定する者のほか、入館料の減免を受けることができる者は、次の各号の一つに該当する者とする
 - (1) 教育課程に基づく教育活動として入館する児童、生徒、学生及びこれらの引率者
 - (2) その他教育委員会が公益上特に必要があると認める者
*上記の2つの入館料の減免を受けようとする方は、入館料減免申請書を考古資料館に提出してください。尚、詳細については、当館にお問い合わせください。
 - (3) 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳及び療育手帳の交付を受けている者、その付添い人

- ◆ 収蔵図書の利用
資料館に収蔵されている図書（県内等の報告書、各地特別展図録、体験学習資料他）の閲覧等利用することが出来ます。図版や写真の多い資料もございますので、是非ご利用ください。利用時間、休館は考古資料館と同様です。図書利用のみのご利用には入館料はかかりません。
詳しくは事務室までお問い合わせください。

考古資料館利用の手引き

考古資料館では、小学生から社会人の方までを対象とした様々な学習活動のお手伝いをしております。ご希望の際は、下記項目及び後記打合せ書をご参考に、当館まで事前にご相談ください。
(ただし、諸般の事情によりご希望に添えない場合もございます)

- ◆ **展 示 説 明** 当館職員が展示を説明します。また、実物の資料・復元品に触れたり、収蔵しているパネルを使ってのご説明もいたします。

- ◆ **歴史公園を歩く** 当館を含む「まほろば古の里歴史公園」内には、復元された古墳や竪穴式住居、古代米の棚田などが整備されており、こちらをご案内します。

- ◆ **遺 跡 案 内** 当館周辺には、日向洞窟（国史跡）や清水前古墳、金原古墳など多くの遺跡があります。こちらを現地でご案内します。

- ◆ **体 験 学 習** 古代の技術を体験し、当時の人々の生活を学ぶこともできます（メニュー参照）。その他に体験したいことがございましたら、ご相談に応じます。

メニュー	内 容	所要時間	人 数	材料費
勾玉づくり	滑石という柔らかい石で勾玉を作ります。	2時間	40名	200円
火おこし	ひもぎり式という摩擦を利用した古代以来の方法で、火を起こします。	30分	30名	無料
弓矢づくり	竹を利用して、弓矢を作ります。	2時間	10名	200円
土器・土偶・土笛づくり	市販の粘土を野焼き用に調整し、形を作り、縄文の模様などをつけて、野焼きします。	延べ2日 (成形日・野焼き日)	20名	500円
編布（あんぎん）づくり	古代以来の編み具を使って、10cm四方の程度の編み布（コースター）を作ります。	2時間	10名	200円

(目安として)

*学校団体等で行う体験事業（勾玉・弓矢をつくろう、編布をつくろう）の場合は、上記の材料費（参加費）とは異なる場合があります

県立考古資料館利用打ち合わせ書

この度は、当館をご利用いただきましてありがとうございます。当館の利用につきまして、下記の打ち合わせ書を当館までいただきますよう、よろしくおねがいたします。

利 用 団 体			
学 年	年	引率者・代表者	
人 数	大人 名 小人 名		
日時・所要時間	月	日	: ~ :
実 施 内 容	遠足・社会科見学・総合的な学習・クラブ活動・親子行事・PTA行事・その他（ ）		
来館のねらい			
説 明	館内・歴史公園・近隣史跡（日向洞窟・金原古墳ほか）		
職員の説明の際に 強調を希望する点	無・有（旧石器・縄文・弥生・古墳・古代中世・ 学校近辺の遺跡・当館周辺の遺跡・洞窟遺跡・押出遺跡）		
使いたい資料	無・有（実物・パネル等・復元縄文衣服） その他 { }		
研 修 室 利 用	希望しない・希望する（学習のため・雨天時の昼食のため）		
利用に当たって 希望すること （体験学習等）	体験：勾玉作り・火おこし等		
交 通 手 段	貸切バス・路線バス・自家用車・レンタサイクル・徒歩・ その他（ ）		
当日に利用する 他の施設・史跡等			

*総合学習でご利用いただく場合は、これまでの経過・ご利用になった他の施設・機関等をお教え下さい。日程表・開催概要等がございなしたら、こちらを送付下さい。

山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 〒992-0302 東置賜郡高島町大字安久津2117
TEL 0238 - 52 - 2585 FAX 0238 - 52 - 4665

2008／年報

平成21年（2009年）3月31日 印刷・発行

編集発行 〒992-0302
山形県東置賜郡高畠町大字安久津2117
山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館
TEL 0238-52-2585
FAX 0238-52-4665
アドレス：122@town.takahata.yamagata.jp

印刷 (株)芳文社よねざわ印刷

